

平成18年度次世代育成支援対策地域協議会 会議録

開催日時 平成18年7月22日(土)午後2時00分から午後3時40分
開催場所 総合福祉保健センター4階研修室
委員出席者 中井会長、皆川委員、寺島委員、末永富委員、三ツ橋委員、原田委員、
小川委員、山田委員、松村委員、伊藤委員、石富委員、秋山委員、芝
田委員、井上委員、並木委員、青木委員
欠席者 小木委員、小磯委員、田澤委員、小池委員、柳川委員、湯原委員、石
井委員(1名欠員)

事務局出席者 福留こども課長、湊保育課長、河崎子育て支援センター所長、染谷こ
ども課長補佐、三橋こども福祉係長、今井こども課主任主事

1 会長挨拶

2 会議録署名人の指定

(決定事項)

○今回の会議は、山田委員と松村委員を会長が会議録署名人として指名する。

3 議 題

①「かまがやこどもサポートプラン」について

・事務局から説明。

②こどもサポートプラン進捗状況について

・事務局から資料「平成17年度次世代育成支援行動計画進行管理一覧表」に
基づき進捗状況説明。

・事務局から「延長保育」について、資料「延長保育利用状況調査について」
に基づき及び、「ファミリー・サポート・センター」「児童虐待防止」「子育て
サロン」について資料「ファミリー・サポート・センター利用状況調査」「平
成17年度次世代育成支援行動計画進行管理一覧表」に基づき説明。

A委員：「母子自立支援員」について、平成17年度相談件数が198件となっ
ているが、この中で就労支援についての相談は何件あったか？

事務局：ハローワークに結びつけた相談が2件。ほとんどが貸付の相談で、就学
の貸し付け143件、転宅資金の相談7件、事業開始資金7件等となっ
ている。

母子自立支援員と家庭児童相談員が兼務となっているので、相談内容の区分が難しい。

A委員：「駅前保育園」について、平成18年3月に開設となっているが、応募と新たな問い合わせ状況はどのようになっているか？

事務局：駅前保育園は平成18年3月に開設をした。0歳から2歳までで、定員は15名。現在は9名入所している。年齢別内訳は、0歳が2名、1歳が7名となっている。定員に達していないが、0歳児が年度の後半から入ってくると考えている。

入園の申込状況や問い合わせ状況は、「駅前が出来て嬉しかった。私の働き方に合っている。」など日々感謝をされている。また、一時保育の要望が何件かあり、当初10月から一時保育をスタートする予定であったが、3ヶ月繰り上げて、7月からスタートすることになった。

これらのことから、駅前保育園に対する住民の期待や需要は高いと思われる。

A委員：「病後児保育」について、中核病院との協議内容はどのようなものか？

事務局：今までの協議内容としては、

- ・病後児保育の実施は市であり、受託を医療法人木下会で行う基本的合意をした。
- ・病院の中に部屋を確保し、部屋の設計について協議した。
- ・定員について協議を行った。定員については、6名（予定）ということで協議が整った。

今後は、委託の詳細や入園の手続きについて協議する予定である。

A委員：「意識啓発（働き方の見直し）」について、国や県のポスターやパンフレットなどを配布と記載しているが、市内の事業所すべてに配布をしたのか？

事務局：詳細については把握していないため、後日報告します。

A委員：「日常生活支援事業」について、ホームページに掲載と記載しているが、これまでの利用状況はどのくらいあるのか？

事務局：3月に設置しホームページに掲載したが、現在のところ利用はない。児童扶養手当の現況届発送時にパンフレットを入れ広報活動を行っていく予定である。

A委員：「妊婦の喫煙率」について、妊婦の喫煙は子どもに対する影響が大きいのは明らかであるが、それに加えて、受動喫煙の害も最近特に言われている。タバコを吸う夫をもつ妻が肺がんで死亡する確率は吸わない夫をもつ妻と比べて2.1倍あるといわれているが、家族単位で喫煙率を把握できないのか？

B委員：妊婦の喫煙はもちろんのこと、受動喫煙も妊婦にとって影響がある。妊婦がタバコを吸わなくても、一緒に生活している人がタバコをすっていると妊婦がタバコを吸っているのと変わらず影響があるという調査結果もでており、社会一般に受動喫煙は問題となっている。鎌ヶ谷市に限らず、妊婦がいる家庭は禁煙になるのが理想である。

事務局：家族単位で喫煙率を把握する必要性については、担当課、健康管理課に報告しておきます。

A委員：「環境浄化活動」について、平成17年度実績で、有害広告撤去数0件となっているが、街中を歩いていると、有害広告物であろうものがかかなりあるが、0件の理由を聞きたい？

事務局：詳細については把握していないため、後日報告します。

C委員：有害広告については、通報があった場合撤去しており、電話ボックスのピンクビラを撤去している。はっきりとしたことは言えないが、電話ボックスのピンクビラがなかったということではないか。

A委員：「ファミリー・サポート・センター」について、需要と供給のバランスが整っているのか？利用したい人が利用できる体制が整っているのか？

事務局：依頼会員から依頼があり断わったケースがないので、需要と供給のバランスは整っていると思う。地区によっては提供会員が少ないところもある。

A委員：母子家庭の自立支援について、来年か再来年に児童扶養手当が減額されると聞いているが、そこに自立のための就業支援が出遅れると、とても暮らしづらくなると思う。すばやい対応を期待している。

事務局：児童扶養手当は、現在満額で4万円程度支給されているが、平成20年度に1/2程度に減額される案がでていいる。そして、その減額された資金を母子家庭就業支援に充てることになる。改正が決定次第速やかに対象者に通知していく。

D委員：平成19年度に五本松小学校放課後児童クラブを学校敷地内に開設する予定があるが、計画どおりに進んでいるのか？

事務局：学校敷地内に新たな施設を建設し、平成19年度から五本松小学校放課後児童クラブを学校敷地内で実施する予定でいたが、児童の安全を優先することで、庁内で再検討を行った結果、2学期から五本松小学校校舎内に移設し、実施することとなった。

D委員：施設を建設する予定はどうなったか？

事務局：今の段階では、他の条件があり再検討することとなった。

C委員：中核病院の建設は順調にすすんでいるのか？

事務局：平成18年度末に開設に向けて進めている。鎌ヶ谷市と医療法人木下会で平成18年度末に向けて協定を結んでいるが、工事着工の時期が若干遅れた。しかしながら平成18年度末に向け工事を行っているが、変更があれば、議会や広報を通して報告していく予定でいる。

4 その他

・事務局から「鎌ヶ谷市次世代育成支援対策地域協議会委員名簿（案）」に基づき説明。

（決定事項）

現委員は今年の8月20日で任期満了となる。

次期に委嘱する次世代育成支援対策地域協議会委員は24名から18名に減員。

減員の内訳については、市立幼稚園の代表者2名から1名に、放課後児童クラブを利用している児童の保護者を2名から1名に、市議会を1名から0名に、関係行政機関及び市職員を4名から0名に減員し、保育園・幼稚園を利用していない小学校未就学児の保護者を1名増員する。

会長：本日の会議はこれにて終了します。ご協力ありがとうございました。

平成18年10月17日

署名 _____ 松村幸江

署名 _____ 山田ルミ子